

第9回 富山駅周辺整備事業推進協議会

富山駅駅前広場・交通広場の計画検討と高架下空間のデザイン検討

目 次

1. 駅周辺空間全体のデザインコンセプト（デザインコード）	1
2. 路面電車走行空間のデザイン	3
3. 高架下空間自由通路のデザイン	4
4. 南口駅前広場のデザイン	6

平成24年8月30日

富 山 市

# 1. 駅周辺空間全体のデザインコンセプト（デザインコード）

## 富山駅周辺整備の基本方針

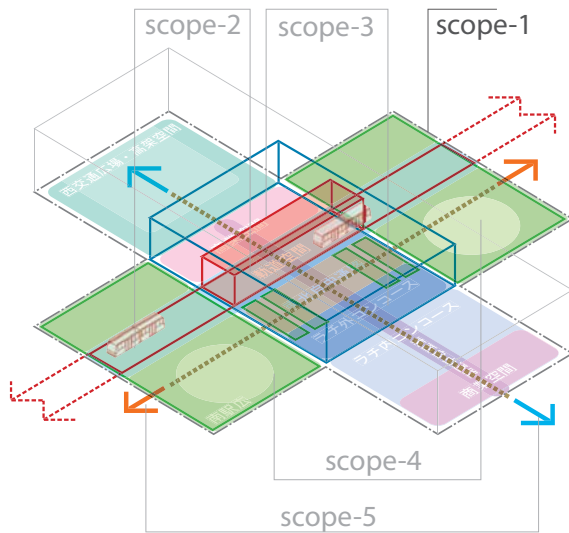
※) 第4回駅周辺推進協議会

## 空間づくりの方向性

※) 第8回駅周辺推進協議会

## 空間デザインの基本理念

## 空間デザインコード



県都富山の  
新たな顔をつくる

多彩な公共交通を  
快適につなぐ

都市拠点としての  
機能をそなえる

### 1-山と海の要をつくる

立山連峰と富山湾に囲まれた豊かな自然の結節点となる魅力的な空間づくり

- ・豊かな自然を活かした山や海の観光の拠点となる空間、仕掛けづくり
- ・海の幸、山の幸が集まる賑わいの場づくり

### 2-人の要をつくる

様々な人が出会い、佇み、交流の中心となる空間づくり

- ・様々な過ごし方ができる様々な居場所づくり
- ・賑わいを演出する空間づくり

### 3-街の要をつくる

新幹線とLRTが立体交差する世界に類を見ない空間としてLRTを核にした新しい都市空間の形成

- ・LRTを中心とし、魅力的にデザインされた都市空間づくり
- ・わかりやすく、スムーズに乗り換えできる空間・しくみづくり

### 4-文化の要をつくる

最新の情報が集まり、先進性があり、新しさを表現する空間形成

- ・様々なイベントが開催できる文化性高い空間づくり
- ・富山固有の産業文化の発信が可能な空間づくり

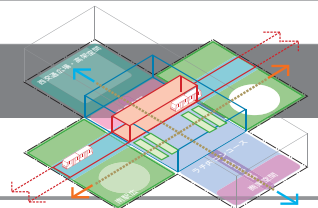
### 5-環境の要をつくる

環境負荷の小さな公共交通をはじめとした最先端の環境モデル都市の形成

- ・エネルギー効率が高い、公共交通体系の構築による環境都市づくり
- ・快適かつ、環境負荷が低く自然と共生する空間づくり

scope-1

富山駅周辺地区（全体空間）



人と公共交通を主役とする空間づくり  
調和のとれた空間づくり

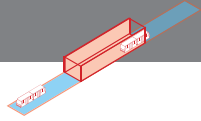
- ・様々な人々の行動をサポートする交通結節点にふさわしい駅機能の充足を図る（利便性、快適性、わかりやすさ、移動の円滑化）
- ・隣接する多様な空間が全体として環境未来都市・富山の顔となるよう調和を図る

デザインキーワード：SYMPHONIC AREA

	屋内空間（軌道空間+自由通路・ラッチ外コンコース）	屋外空間（軌道空間+駅前広場）
空間構成	<p>富山駅の顔として軌道空間を引き立たせる空間構成とする</p> <p>軌道空間をショーケースとして独立した空間。 新幹線、在来線共通の空間。</p> <p>高架下を一体の空間として捉え、見通しを確保した空間とする。</p>	<p>賑わいに資する環境広場（まちなか広場）、機能的な駅前広場の2つの広場構成</p> <p>軌道空間の南北つながりを感じさせる空間構成</p> <p>駅舎を引き立て、南北の見通しつながりを確保する空間構成</p>
意匠表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境未来都市としてのクオリティの高い空間</li> <li>・シンプルでLRTを引き立てるデザイン</li> <li>・アルミ、ガラス等によるシャープな空間</li> <li>・クールな色調</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木、石等天然素材によるほっとできる空間</li> <li>・駅舎を引き立て正面性を創るシンプルなデザイン</li> <li>・環境未来都市としてのクオリティの高い空間</li> <li>・舗装：人を引き立てる、シンプルなパターンと明るい色彩</li> <li>・工作物：広場全体で調和のとれた、一貫性のあるデザイン</li> </ul>
賑わい、情報発信のためのしかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・賑わいの創出と産業・文化の発信が可能な空間（多目的デッキやイベントスペース等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・賑わいを演出する装置や人のための居場所の創出</li> </ul>
環境性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可動式ファサード、地中熱利用等による環境負荷の少ない空間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑の確保</li> <li>・省エネルギーの照明計画</li> <li>・地下水を用いた融雪装置</li> </ul>

scope-2

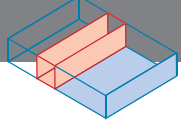
軌道空間 (LRT)



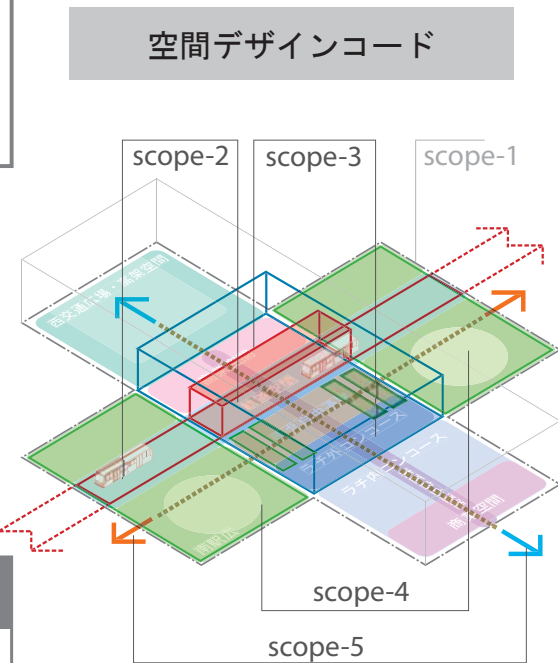
- 1- 県都富山の地域性表現
  - ・ 環境未来都市を象徴する、LRTのある新しい富山の顔をつくる
- 2- 南北交流の象徴
  - ・ 南北交流の主軸となる空間
- 3- トータルデザインの導入
  - ・ LRTに関するハード、ソフトを1つのコンセプトによって一元的にデザイン
- 4- まちづくりとの連携
  - ・ 地域の誇り・愛着を生むために、地元企業、市民、行政など多くの人が参加できる仕組みの導入

scope-3

自由通路+ラッチ外コンコース+軌道空間



- 1- 富山が今まで進めてきた、新たな魅力が伝わる空間
  - ・ 改札口からLRT空間が見通せる印象的な空間づくり
  - ・ 環境負荷の低減を図る
- 2- 公共交通の快適な乗換を支える動線の確保と適切な情報提供
  - ・ 分かりやすい空間構成
  - ・ 快適な移動空間の実現
- 3- 南北を結ぶ新駅・交通結節点の機能美と活力を市街地につなげる
  - ・ 南北を視覚的につなぐ
  - ・ 観光やまちなかの魅力を伝える
  - ・ 賑わいと交流空間の創出



**SYMBOLIC LINE**

- ・ 富山の象徴的景観となるLRT空間の創出
- ・ 駅の南北をつなぐ交流の軸
- ・ 富山の先進性の象徴

**SHOW CASE & SHOW ROOM**

- ・ LRTや新幹線、市内軌道線を引き立てる
- ・ 県都富山を伝える

**CONNECTIVE STREET**


- ・ 富山の伝統工芸や物産、観光客と地元等、人とモノ、人と人をつなげる路地的空間へ
- ・ 賑わいを演出する線状連続空間
- ・ 高架下空間の新たな魅力の創出

**DOMESTIC MOBILITY ZONE**

- ・ 駐輪場や一般車両乗降など、市民の「普段使いの場」で富山らしさを発信する空間へ

scope-4

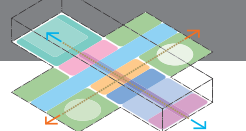
駅前広場



- 1- 富山が積み重ねてきた高質なデザインの推進
  - ・ まちなか広場、駅舎を引き立てる空間構成
- 2- 環境未来都市としての顔づくり
  - ・ 花やみどり、環境負荷低減に配慮
- 3- 公共交通の快適な乗換を支える動線の確保と適切な情報提供
  - ・ 分かりやすい空間構成
  - ・ 快適な移動空間の実現
- 4- 南北地区をつなげるデザイン
  - ・ 見通し、隣接街区との連続性
- 5- 賑わいを生み、感じるデザイン
  - ・ イベント広場、賑わいと交流の仕掛け

scope-5

サイン



- 1- 駅舎と駅前広場の景観をいかす
  - ・ LRTへの視界を遮らない配置
  - ・ 南北をつなぐ計画
  - ・ 空間構成、インテリアデザインを取り込むサイン計画
- 2- 交通結節点としてのわかりやすさをつくる
  - ・ 公共交通の乗換を円滑にする
  - ・ 誰にでもわかりやすい計画
- 3- 回遊性と賑わいを創出する
  - ・ 駅を起点とした街の回遊性創出
  - ・ 多様な媒体による情報提供
  - ・ 観光、商業活性化としての環境広告

**OPEN PLAZA まちなか広場**

- ・ 賑わい、交流を見せる
- ・ 南北を視覚的につなげる
- ・ 駅舎を引き立てる

**ORIENTATION CROSS**

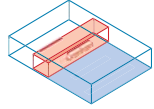
- ・ 東西、南北の方位を感じる
- ・ 県都富山を伝える

## 2. 路面電車走行空間のデザイン

### 軌道空間デザインの基本的方向性

#### ●空間づくりの方向づけ

空間構成



デザインキーワード

空間デザインコード

空間構成

意匠表現

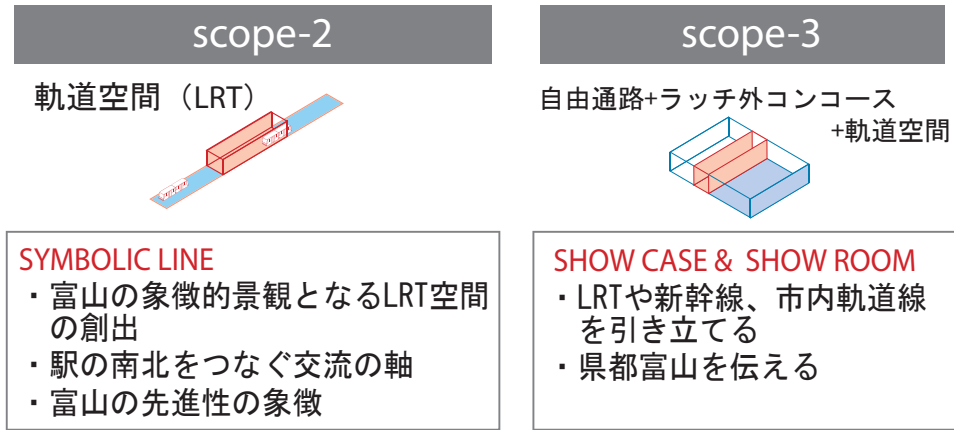
賑わい、情報発信のためのしかけ

環境性

軌道空間デザインの方向性

内装(空間)デザイン

要素デザイン



屋内空間 (軌道空間+自由通路・ラッチ外コンコース) の空間づくり

富山駅の顔として軌道空間を引き立たせる空間構成とする

- 軌道空間をショーケースとして独立した空間
- 新幹線、在来線共に共通の空間

高架下を一体の空間として捉え、見通しを確保した空間とする

- 環境未来都市としてのクオリティの高い空間
- シンプルでLRTを引き立てるデザイン

- アルミ、ガラス等によるシャープな空間
- クールな色調

木、石等天然素材によるほっとできる空間

- 賑わいの創出と産業・文化の発信が可能な空間 (多目的デッキやイベントスペース等)

可動式ファサード、地中熱利用等による環境負荷の少ない空間

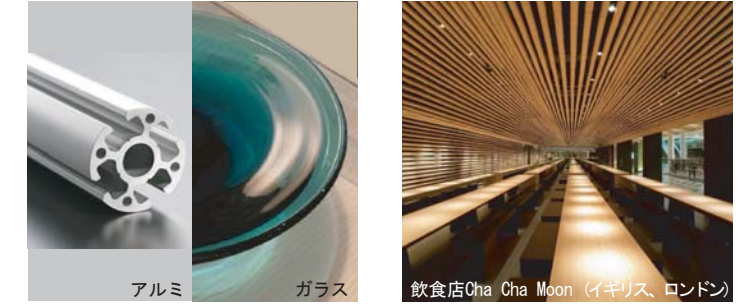
軌道空間エリアの空間デザイン(基本的方向性)

床	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダークな無彩色を基調としたシックな空間づくり (壁・天井等を引き締めるベーストーン)</li> <li>移動円滑化に配慮した機能充足 (視覚障害者誘導(点字)ブロックとの輝度差確保)</li> </ul>
壁	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルミ・ガラス等の地場産材料の活用 (富山の地場伝統産業を表現)</li> <li>シンメトリーを基本とした空間づくり (南北縦貫空間軸の強調)</li> </ul>
天井	同上
空間演出	富山駅と一目でわかる特徴的な空間デザイン
照明計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>自由通路・コンコース空間より明るい照度設定 (LRTVのショーケースを演出)</li> <li>色温度の差別化 (軌道空間=昼光色~電球色系 (5~4000K前後)、他=暖色系 (3000K前後))</li> <li>LRTVのボディ側面演出 (ルーフ部を見せにくい照明計画 ※多目的デッキからの見え考慮)</li> </ul>
色彩計画	シルバー・メタリックをベースとしたクール系の色彩イメージ (地場産素材の表現)
施設計画 (ストリートファニチャー、サイン等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>富山港線・環状線施設デザインのイメージの継承 (南北交流)</li> <li>金属・ガラス + 木・石素材などの活用 (地場伝統産業の表現と、人が触れるベンチ、手摺りなどへの対応)</li> <li>動線の妨げにならない配置計画 (天井吊り、柱・壁利用など)</li> </ul>

#### ●空間づくりのイメージ



自由通路との対比効果を狙い、照明は高めの色温度設定とする

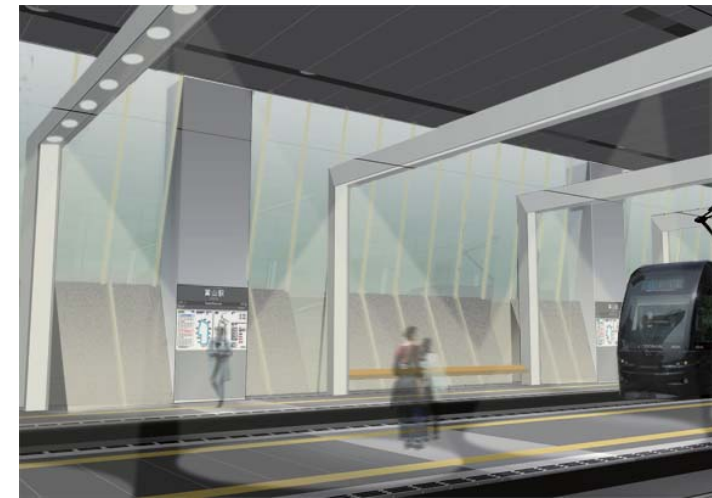


アルミ・ガラス等の地場産材料の活用による精度感の高い空間

南北の軸性を強調する空間 (※複数の表現を検討)

#### ●空間デザインの概要(基本的方向性) ※本図は基本的なデザインの方向性を示す。

<高架下空間>



基本的な仕様

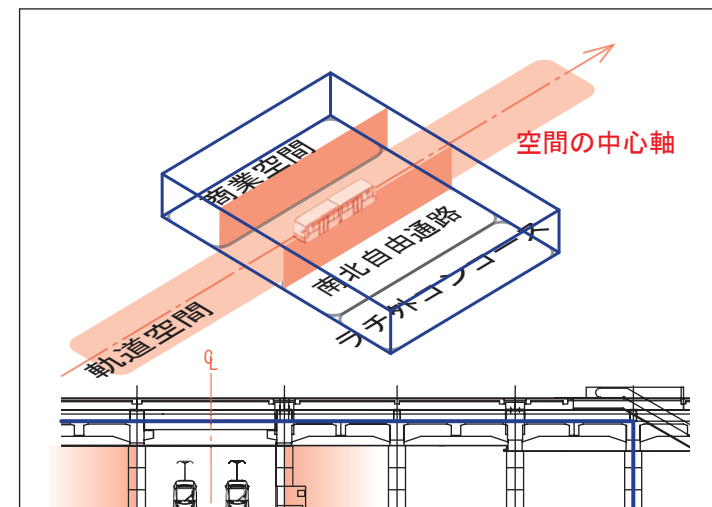
ゲート架線柱：アルミ化粧材仕上げ、照明共架を想定  
 対向壁：アルミやガラスなどの異素材で構成、サイン・バナー・ベンチの設置  
 映像投影、広告活用を想定

天井：アルミ系材料を想定 (設置可能か協議中)  
 床：自然石舗装を想定

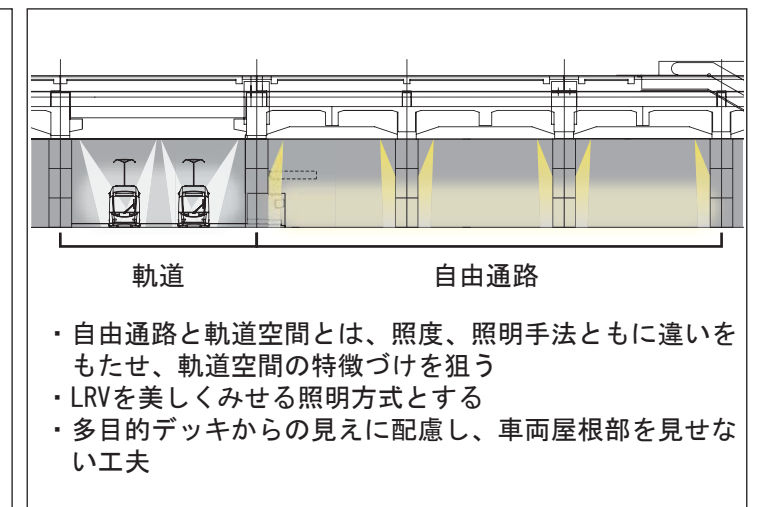
<駅前広場空間>



ゲート架線柱：アルミ化粧材仕上げ、照明共架を想定  
 路面：芝生敷設を想定



軌道空間を中心とした軸性の強い空間構成



照明の考え方

自由通路と軌道空間とは、照度、照明手法ともに違いをもたせ、軌道空間の特徴づけを狙う

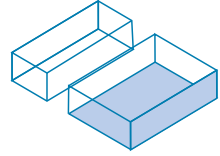
- LRTVを美しくみせる照明方式とする
- 多目的デッキからの見えに配慮し、車両屋根部を見せない工夫

### 3. 高架下空間自由通路のデザイン

#### 1) 南北自由通路デザインの基本的方向性

##### ●空間づくりの方向づけ

空間構成



デザインキーワード

scope-3

**SHOW CASE & SHOW ROOM**

- ・LRTや新幹線、市内軌道線を引き立てる
- ・県都富山を伝える

空間デザインコード

南北自由通路の空間づくり

空間構成	LRT軌道や、新幹線を引き立てる空間 山と海の結節点として、おおらかで人々を包み込む普遍的な空間 様々なイベントが開催でき、賑わいを創出できる空間
意匠表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境未来都市としてのクオリティの高い空間</li> <li>・木や石等、天然素材を組み込んだ人々がほっとできる空間</li> </ul>
賑わい、情報発信のためのしかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由通路の1スパンをイベントスペースとして利用</li> <li>・多目的デッキを設置し賑わいの演出と憩いのスペースの創出</li> </ul>
環境性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季の通風確保や、地熱利用による環境負荷の少ない空間</li> </ul>

南北自由通路デザインの方向性

南北自由通路エリアの空間デザイン(基本的方向性)

内装(空間)デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・床</li> <li>・柱</li> <li>・天井</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新幹線駅舎やLRT空間と同様に御影色を採用</li> <li>・大寸法の石を乱尺貼りすることで広間的な雰囲気演出</li> <li>・外から人を出迎える南北面は、ほっとする印象となる天然木貼り</li> <li>・東西面はLRVを背景としてシャープな印象となるアルミパネル貼り</li> <li>・快適な音環境を実現し、地場伝統産業を表現するアルミ材による吸音天井</li> </ul>
要素デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・照明計画</li> <li>・色彩計画</li> <li>・施設計画(ファニチャー)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柱に合わせて光を配置し、連続性があり、見通しのよい空間</li> <li>・多目的デッキ等、日常時とイベント時で調光や演出が可能な計画</li> <li>・自然素材を活用し、人々がほっとできる色彩イメージ</li> <li>・多目的デッキの階段、開放型EV等、洗練されたデザインを空間のアクセントとして演出</li> <li>・サイン、ポスターケース、ベンチ等により賑わいを演出</li> </ul>

<空間イメージパース>



新幹線改札口側からLRTホームを臨む



新幹線側から在来線側を臨む

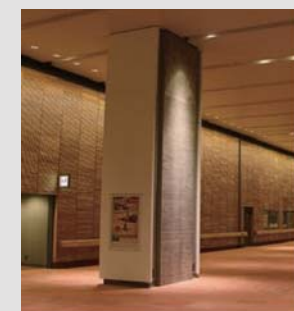
<仕上素材イメージ>



馬車道駅(横浜市)  
天井: 吸音機能を持たせたアルミ材



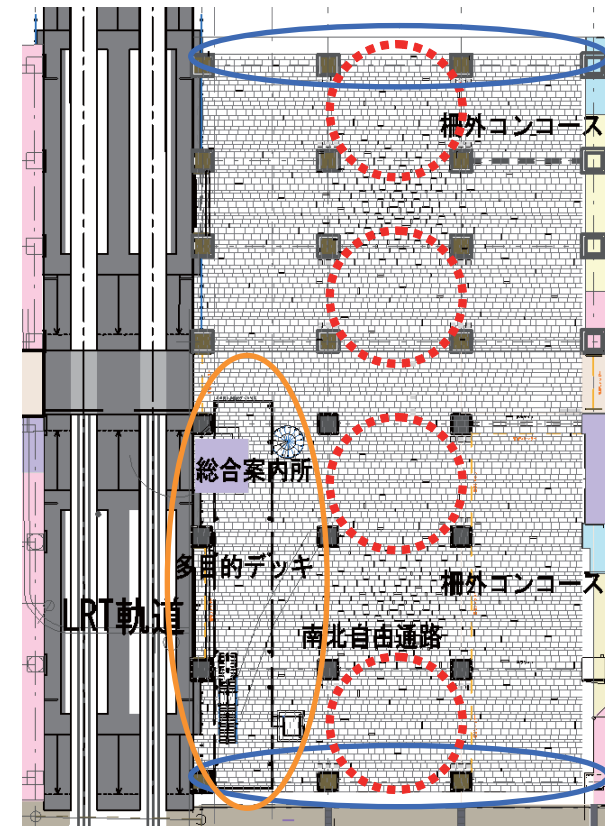
旭川駅(旭川市)  
柱(南北面): あたたかみのある木板貼り



旭川駅(旭川市)  
柱(東西面): シャープな印象のアルミパネル貼り



床: 色むらのあるグレー系の御影石



南北自由通路平面図



旭川駅(旭川市)  
居心地のよい待合空間イメージ



金沢21世紀美術館(金沢市)  
人々を引き寄せるエレベーター



ダイムラーシティ(ドイツ・ベルリン)  
風を取込む可動ファサードイメージ

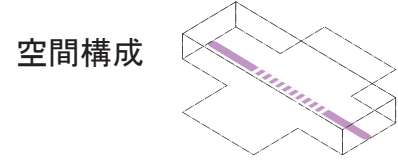


グランドプラザ(富山市)  
イベントスペース活用イメージ

※内装に使用する材料はイメージであり、一部は変更される場合があります。

## 2) 東西自由通路デザインの基本的方向性

### ●空間づくりの方向づけ



scope-3

#### デザインキーワード

#### CONNECTIVE STREET

- ～富山の伝統工芸や物産、観光客と地元等、人とモノ、人と人をつなげる路地的空間～
- ・賑わいを演出する線状連続空間
  - ・高架下空間の新たな魅力の創出

#### 東西自由通路の空間づくり

#### 空間デザインコード

##### 空間構成

長い壁が続くことがなく、奥に人々を引き込み、人々の回遊性を高める魅力のある空間  
連続性があり、変化に富んだ空間

##### 意匠表現

- ・店舗の賑わいを演出する素材の活用や連続性の表現
- ・トップライトからの自然光を活かした魅力ある空間

##### 賑わい、情報発信のためのしかけ

- ・ショーケース等、賑わいや富山の魅力を伝える空間
- ・人々が滞留できるたまりスペースの確保

##### 環境性

- ・トップライトからの採光や、風の流に配慮した環境負荷が少なく心地のよい空間

#### 軌道空間デザインの方向性

#### 東西自由通路エリアの空間デザイン(基本的方向性)

##### 内装(空間)デザイン

- ・床
- ・柱
- ・天井

- ・明るい色彩を基調として賑わいを演出
- ・店舗部分：ガラスを基本に外から中の賑わいが感じられる空間
- ・駅施設部：ショーケース等、店舗への導入空間として賑わいを演出
- ・地場産材のアルミ材等の活用
- ・ホームトップライトからの光を演出するデザイン
- ・高架桁下のインフラ、構造物の特徴に対応

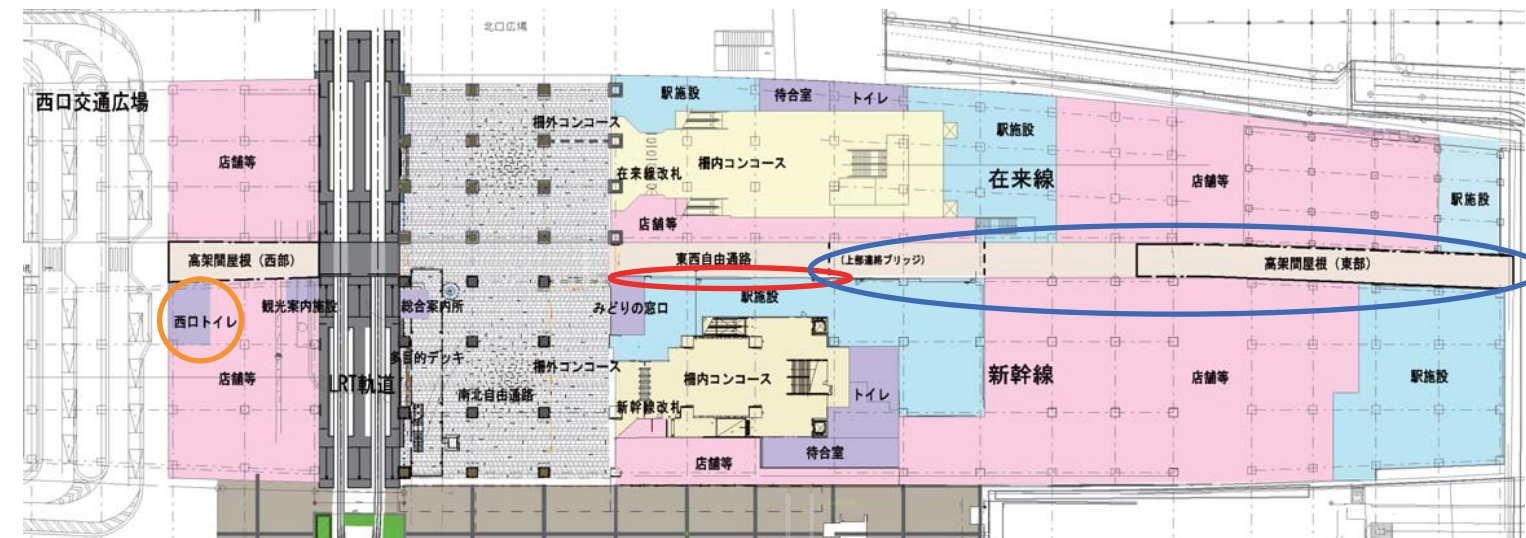
### <空間イメージパース>



南北自由通路から東西自由通路(東側)を臨む



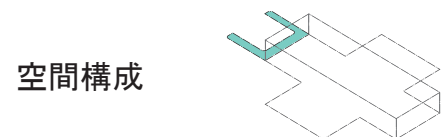
軌道空間から西口交通広場を臨む



東西自由通路平面図

## 3) 西口交通広場デザインの基本的方向性

### ●空間づくりの方向づけ



#### DOMESTIC MOBILITY ZONE

～駐輪場や一般車両乗降など、市民の日常的なモビリティ空間で富らしさを発信する場～

#### 西口交通広場の空間づくり

#### 空間デザインコード

##### 空間構成

駐輪場などで視線をさえぎることなく、駅中心部と結ぶすっきりとした空間

##### 意匠表現

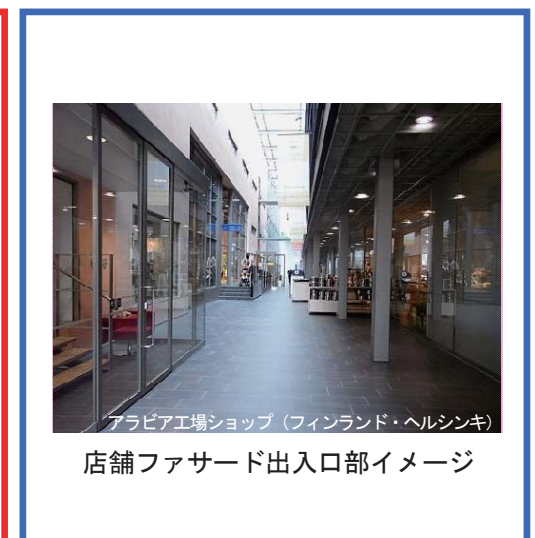
- ・日常的なモビリティ空間で、愛着のもてる場

##### 賑わい、情報発信のためのしかけ

- ・市民の創作作品などを展示
- ・待ち合わせスペースの確保

##### 環境性

- ・高架間からの採光や風の流に配慮した環境負荷の少ない空間

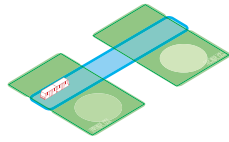


# 4. 南口駅前広場のデザイン

## 南口駅前広場デザインの基本的方向性

### ●空間づくりの方向づけ

空間構成



デザインキーワード

空間デザインコード

空間構成

意匠表現

賑わい、情報発信のためのしかけ

環境性

広場空間デザインの方向性

空間デザイン

要素デザイン

・シェルター

・舗装

・植栽

・滞留空間

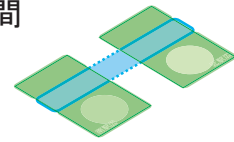
・照明計画

・色彩計画

・施設計画  
(ストリートファニチャー、サイン等)

scope-4

広場空間



OPEN PLAZA まちなか広場

- ・賑わい、交流を見せる
- ・南北を視覚的につなげる
- ・駅舎を引き立てる

屋外空間（軌道空間+駅前広場）の空間づくり

駅舎・軌道空間・シェルターを引き立たせる空間構成とする

軌道空間の南北つながりを感じさせる空間構成

駅舎を引き立て、南北の見通しをつなげる空間構成

- ・駅舎を引き立て正面性を創るシンプルなデザイン
- ・環境未来都市としてのクオリティの高い空間
- ・舗装：人を引き立てる、シンプルなパターンと明るい色彩
- ・工作物：広場全体で調和のとれた、一貫性のあるデザイン

- ・多様なたまり空間やイベントスペースによる、賑わいある文化的な空間を演出

- ・軌道空間沿い等に十分な緑化空間を確保

駅前広場エリアの空間デザイン(基本的方向性)

- ・特徴的な形状を持つロータリーを浮かび上がらせ、新たな富山らしさを創出

- ・ボーダー舗装により広場空間の軸を示す
- ・富山の砂浜の色彩をイメージした石材を使用（地場素材の表現）

- ・見通しの確保やアイストップとなり、景観の豊かさを演出

- ・滞留する仕掛けとして、ベンチなどを適宜配置

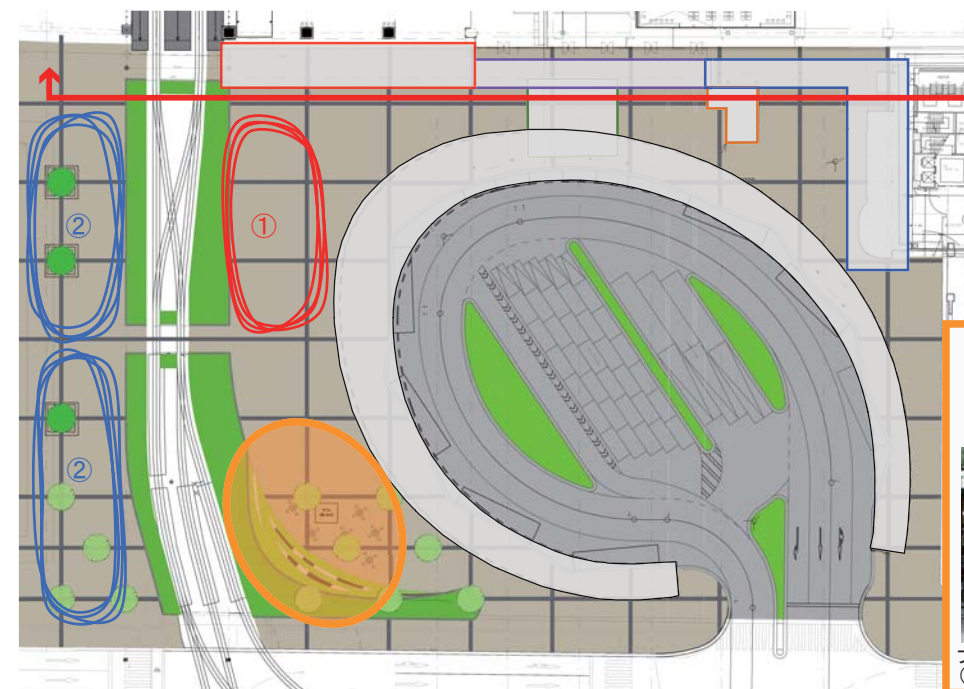
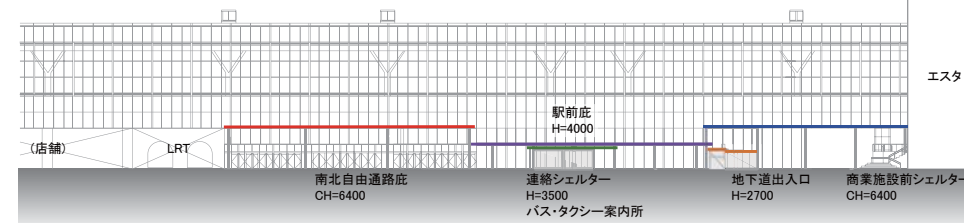
- ・駅舎、シェルター、軌道空間を浮かび上がらせる照明
- ・歩行者動線を示す照明

- ・アルミ・ガラス等のイメージしたクール系の色彩や砂浜や樹木などをイメージした温かみのある色彩（地場産素材の表現）

- ・自由通路から広場まで一貫性のあるデザイン
- ・金属・ガラス+木材・石素材などの活用

### ●空間デザインの概要（基本的方向性）

<賑わい空間の配置>



イベント空間①

南北自由通路正面の大きな空間は人の目をひく大きなイベントやストリートライブ等に利用



ストリートライブ(ドイツ・デュッセルドルフ)

イベント空間②

主要動線から離れた場所は落ち着いた空間として小規模なイベントに利用



オープンカフェ(ロンドン)

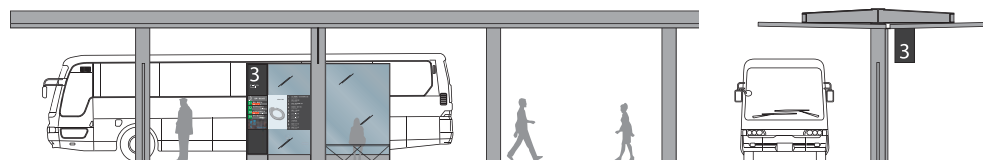
たまり空間

主要動線沿いで駅舎全体を眺めることができる広場の南側に、オープンカフェ、LRT展望広場を配置し、賑わいのある空間を演出

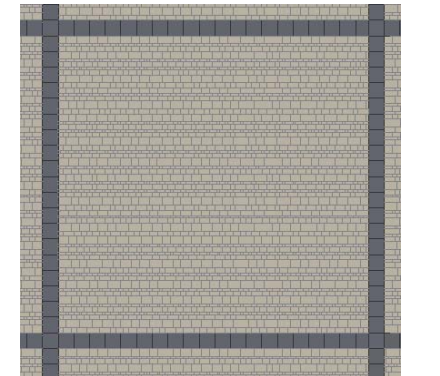


ブライアントパーク(アメリカ・ニューヨーク) マンデルスゾーン河岸(ドイツ・ライプツィヒ) 長崎水辺の森公園(長崎市)

<シェルター>



<舗装イメージ>



・富山の砂浜をイメージした舗装材



岩瀬浜(富山市)